

藤女子大学のディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

本学の建学の理念および教育目的を達成するため、ディプロマ・ポリシーを次の通り定める。

1. キリスト教的世界観および人間観をよく理解し、愛の精神をもって、柔軟かつ誠実に行動することができる。(キリスト教的世界観および人間観)
2. 文化の多様性に配慮し、現代社会の一員として主体的にその役割を果たすため、他者との円滑なコミュニケーションを行うことができる。(主体性・多様な人々と協働して学ぶ態度)
3. 現代社会における諸問題を理解するために、文学部、人間生活学部の各学科等の求めるそれぞれの専門分野の知識・技能を身につけ活用することができる。(知識・技能)
4. 授業で得た知識を自分の問題として捉えなおし、現代の諸問題に関連づけ、幅広く複眼的な視野をもって論理的かつ批判的に思考し、社会に発信することができる。(思考力・判断力・表現力)

学科のディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

英語文化学科 ディプロマ・ポリシー

本学科の教育目的を達成するため、ディプロマ・ポリシーを次の通り定める。

1. 英語圏の言語文化の社会的・歴史的な諸相について知見を深め、それを母語への関心へと繋げるとともに、広く言語文化の基層にある問題を多角的、分析的に捉え、考えることができる。(知識・理解 分析的思考)
2. 国際的なコミュニケーション手段としての英語運用能力を身につけ、多元化する世界や自国の諸問題に他と協働して対処していくことができる。(コミュニケーション力 社会性)
3. 人文科学の文脈における普遍的問題についての理解に基づき、各専修において獲得した専門的知識を応用して、現実社会において自らが取り組むべき課題を発見、分析し、その見解を批判的、論理的な手続きに沿って展開し、日英両言語において発信することができる。(問題の発見 批判的思考 表現力)
4. 文学・文化専修においては、英語圏の文学と文化についての関心に基づく独自の研究を推進し成果をまとめることができる。(専門性)
5. 言語・コミュニケーション専修においては、英語圏を中心に言語とコミュニケーションについての関心に基づく独自の研究を推進し成果をまとめることができる。(専門性)

日本語・日本文学科 ディプロマ・ポリシー

本学科の教育目的を達成するため、ディプロマ・ポリシーを次の通り定める。

1. 日本の言語・文学・思想・文化に関する学びを通して、情報を収集し、読解・分析する力を身に付けることができる。(情報リテラシー)
2. 情報リテラシーを基盤に、広く日本の文化・社会の歴史的かつ現在の諸問題に取り組むことを通して、論理的かつ柔軟な思考と問題発見・解決力を身に付けることができる。(思考力)
3. 学修成果を日本語によつて的確に論述することを通して、広く他に自己の見解を説得力をもって主張する力を身に付けることができる。(表現力・コミュニケーション力)
4. 日本語・日本文学専修においては、日本語と日本文学に関する独自の関心に応じた研究を推進し成果をまとめることができる。(専門性)
5. 日本文化専修においては、日本文化に関する独自の関心に応じた研究を推進し成果をまとめることができる。(専門性)

文化総合学科 ディプロマ・ポリシー

本学科の教育目的を達成するため、ディプロマ・ポリシーを次の通り定める。

1. 人びととの交流・協働において、多様な言語・文化を深く理解し、情報を的確に受容し、発信することができる。(コミュニケーション力)
2. 専門的な知識と研究方法を身につけ、領域横断的な課題を自ら発見し、情報や知識を論理的に分析し、総合することができる。(総合的理解力)
3. 多種多様な人間社会の在りようを研究する現代社会専修と、その背景の理解をめざす歴史・思想専修を2つの柱として、多角的な視野のもとで問題解決に必要な道筋を創造的に構想することができる。(創造的思考力)
4. 現代社会専修においては、現代の多様な社会と文化について、法学・心理学・文化人類学・国際関係論・異文化コミュニケーション論などの諸研究を通して多面的に学び、独自の関心に応じた研究を推進し成果をまとめることができる。(専門性)
5. 歴史・思想専修においては、現代の社会と文化をその成り立ちから理解するために、背景や基盤となっている歴史や思想について学び、独自の関心に応じた研究を推進し成果をまとめることができる。(専門性)

人間生活学科 ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

本学科の教育目標を達成するため、ディプロマ・ポリシーを次の通り定める。

1. 多様な生活を取り巻く社会的事象の現状と課題について、人間と環境の相互作用を、科学的にかつエコロジカルな観点から説明できる。……………(知識・理解)
2. 日常生活で直面する課題を的確に把握し、多様な価値観をもつ他者とともに行動できる能力を身

につけて、暮らしやすい社会への変革に貢献し、生活の質の向上に向けて実践できる。

.....【汎用的な能力】

3. 現代家政専修においては、人間の生涯発達における生活課題を考え、解決するための能力を身に付け、生活の質の向上に貢献することができる。.....(専門的な能力)
4. 社会福祉専修においては、個人をとりまく社会環境との不適合に対し、社会福祉の各分野の制度・サービスに関する知識・相談援助技法を活用することができる。.....(専門的な能力)
5. プロジェクトマネジメント専修においては、立場の異なる他者との協働の中で考え方を整理し、プロジェクトを企画・運営・評価することができる。.....(専門的な能力)
6. 高い学習意欲と共生的な視座を備え、困難な状況にもしなやかに対応し、課題に向き合う姿勢をもって多様な価値観を受け入れることができる。.....(態度・志向性)

食物栄養学科 ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

本学科の教育目的を達成するため、ディプロマ・ポリシーを次の通り定める。

1. 食と栄養に関する国内外の情報を収集・処理でき、論理的に分析し提示することができる。.....(情報リテラシー)
2. 科学的根拠に基づき、食や健康に関する諸問題を主体的かつ論理的に分析・思考し、解決手段を導き出すことができる。.....(思考力・問題解決能力)
3. コミュニケーション能力を基礎として、良好な対人関係を構築できる。.....(コミュニケーション能力)
4. 管理栄養士として必要な基礎知識・技術を有し、人の健康を栄養と食の面から支援し、保健・医療・福祉、教育、食品開発・製造などの場で、社会に貢献できる。.....(専門能力)

子ども教育学科 ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

本学科の教育目標を達成するため、ディプロマ・ポリシーを次の通り定める。

1. 乳幼児期から青年期までの子どもの成長・発達を支援し、子どもや子どもを取り巻く人びとの生活の質の向上に寄与するための専門的知識を修得する。.....(知識・理解)
2. 社会が抱える複雑な問題を包括的な視点で分析し、保育・教育場面で生じる課題に対処できる論理的思考力と問題解決へと導く能力を身につけることができる。.....(汎用的技能)
3. 保育・教育を通して社会的責任を果たしていくことのできる態度・倫理観と、生涯にわたり主体的に学びを深める態度を身につけることができる。.....(態度・志向性)
4. 地域社会とかかわるさまざまな社会経験を通し、広い教養の涵養と子どもにかかわる多様な問題に対処できる幅広い視野と創造的思考力を身につけることができる。.....(総合的な学習経験と創造的思考力)